

BMW グループ ドライビング・エクスペリエンス 目次

本プレスキットの内容は、ドイツ国内市場向け (2007 年 5 月現在) の内容を基準として記載されており、その他の市場においては仕様・設定などが異なる場合があります。本プレスキットは BMW AG 発表のデータとなるため、日本の実情とは異なる場合があります。なお、諸仕様は随時変更される可能性がありますので予めご了承ください。

1.	ステップ・バイ・ステップによるスキル強化： BMW グループのドライビング・エクスペリエンス.....	3
2.	責任と安全の長い伝統： 1977 年からの BMW ドライバー・トレーニングの歴史.....	5
3.	トレーニング・プログラム：	
3.1	BMW ドライバー・トレーニング	11
3.2	MINI ドライバー・トレーニング	19
3.3	BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニング	23
4.	あらゆる要求を満たす理想のエンディション： BMW ドライバー・トレーニング センター	28
5.	世界中で安全に貢献： 最高レベルのインストラクター	30
6.	自動車製造のスペシャリスト： BMW M GmbH	32



1. ステップ・バイ・ステップによるスキル強化： BMW グループの ドライビング・エクスペリエンス

1977 年、BMW は自動車メーカーとして世界で初めて、ユーザーの運転技術を最大限に高める機会を提供しました。その当時は、初代 3 シリーズの様々なモデルを使った「ドライビング・スクール」として始まりました。現在、BMW グループが実施するドライビング・エクスペリエンスは、BMW ドライバー・トレーニング、MINI ドライバー・トレーニング、BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングで構成されています。使用する車両の数は 250 台以上、モーターサイクルの数も 100 台以上にまで上ります。

ドイツ国内だけでも年間 1,000 回ものトレーニング・イベントが開催されており、およそ 1 万 8 千人のドライバーやライダーが参加しています。1977 年の初開催からの累計参加者は 20 万人を超え、公道を模したコースやサーキットでのトレーニングを行って個々のスキルを磨き、運転に自信をつけるとともに、日常の交通においてもさらなる安全性向上に結びつけています。

そのため BMW グループのドライビング・エクスペリエンスは、初心者からベテランに至るまで幅広い参加者に対し、弱点を克服するためのドライバー・トレーニングおよびライダー・トレーニングの象徴的な存在となっています。BMW グループ・ドライビング・エクスペリエンスは、最新の運転技術に関するノウハウや調査結果による技術情報に基づいて、有能なインストラクター陣が各個人に合わせた特別なサポートを提供する、システムティックなトレーニングです。

理論と実践でさらなる駆けぬける歓びを

BMW グループの自動車やモーターサイクルと同様、ドライバー / ライダー・トレーニング・プログラムは常に進化し続けています。例えば 30 年前には、最新のドライバー・アシスタンス (支援) システムについての知識が誰にもありませんでした。今日では、アンチロック・ブレーキシステムやダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) といった重要な機能はトレーニングでも重要視され、様々な角度からの知識が網羅されています。

基本的な内容は、30 年間ずっと変わっていません。昔も今も、技術的要素や走行に関する物理の原則を理論的に正しく理解し、その知識を実践に移すことによって、厳しい条件下での運転にも対処できるトレーニングを目的としています。

シート位置やステアリングの握り方が、クルマを制御する上でどのように影響するのでしょうか？前輪駆動車と後輪駆動車の運転では、なぜクルマの挙動が異なるのでしょうか？モーターサイクルの重量を緻密に配分することが、コーナリングの挙動にどのように影響するのでしょうか？



参加者はこのような疑問を理論的にじっくり考え、学んだことを実践に移すことで日常の交通における潜在的な危険を認識し、起こり得るリスクを避けることに役立てられます。さらにクルマやモーターサイクルを意識的に制御することや安全面を管理することも、駆けぬける喜びに大きく貢献するのです。

優秀なインストラクターが技能や知識を伝授

ダイナミックに思考し、もっと上手に運転し、何事もなく到着する。かつて、フィンランドのプロフェッショナル・ラードライバー、ラウノ・アルトネンが、一貫したドライバー・トレーニング戦略として定めたのは、このようにシンプルで説得力のある言葉でした。彼は 1977 年 1 月、BMW Motorsport から BMW ドライバー・トレーニングで初めてのチーフ・インストラクターに任命されました。現在は、テスト・ドライバー、経験豊かなエンジニア、知識豊富な車両開発スペシャリストなど、技術や指導のスキルだけでなくモータースポーツにも精通した 120 人以上のインストラクターが在籍しています。

ステップ・バイ・ステップでベテランの技量を獲得

広範囲にわたるトレーニング・セッションやトレーニング・コースにより、参加者ごとの個別のニーズや要求だけでなく、様々なスキルやレベルにおいて既に達成できているもの、またはこれから達成すべきものなどを全て考慮します。開催当初より、BMW グループ・ドライバー・トレーニングが提供するコースは一般の自動車教習所では教わらない内容までも網羅しており、さらにサーキット・トレーニングでは極限状況で自身のクルマを体感することができます。

BMW コンパクト・トレーニング、BMW アドバンスド・トレーニング、MINI スターター・パックなど、参加者からの要望は徐々に次のレベルに向けて高まっています。そんな熱心な参加者に対し、日常における自動車の安全管理からスポーツへの挑戦に至るまで、数々のトレーニング・プログラムを提供しています。初心者でさえも、段階を踏んでいけば BMW グループ・ドライバー&セーフティー・トレーニングのベテランに匹敵するレベルに達することができるのです。

もちろん BMW グループ・ドライバー&セーフティー・トレーニングは、BMW、MINI、モーターサイクルのユーザー「だけに」向けたものではありません。あらゆるドライバーやライダー、また全ての関係者が利用できる走行安全性の分野において、高水準のスキルやノウハウを提供することこそが、企業としての取り組みなのです。

2. 責任と安全の長い伝統： 1977 年からの BMW ドライバー・トレーニングの歴史

「より良いクルマとより良いドライバーの最適な組み合わせの確立」。これは 1970 年代にドライビング・スクールを最初に開催したとき、BMW Motorsport GmbH が掲げた目標でした。そして今日まで、この目標とそれに取り組む意気込みに変わりはなく、道路交通のより高い安全性のために、BMW グループは包括的に責任を果たしてい姿勢を明確に表明しています。

当初は 15 のコースを設け、それぞれ 20 名が参加して開催されました。開催のきっかけは、高い安全性を持つクルマを製造することだけでなく、ドライバーの運転技術を向上させることによって事故のリスクを減少させることができる、というごく当たり前の発想でした。予想通り、すべてのコースは募集開始と同時にほとんどが定員に達するほどの人気で、それ以来、BMW グループは駆けぬける喜びと安全のための運転技術を密接に関連付けています。

この 30 年間、路上での心強い味方となる BMW M GmbH が開催するさまざまなトレーニング・コースには、自動車の運転やモーターサイクルの操縦の技術を磨き、知識を高めたいと願う数多くのドライバーおよびライダー達が参加してきました。

BMW ドライバー&セーフティ・トレーニングは、1977 年 4 月 22 日に「誕生」しました。この日、初めて参加した受講者は、BMW 320i を使って行われたさまざまな運転技術のトレーニングを受けました。その 6 週間前には数名の警察官が、オーバープファッフェンホーフェン飛行場の敷地内で特別に全体リハーサルとして行われたコースを受講しました。当時からすでに、プロフェッショナルによる厳しいドライバー・トレーニングは警察や警備会社から注目されていたのです。

黎明期：高い基準に裏打ちされたオールラウンドなトレーニングを目指して

BMW AG の取締役会は、実際に開催される 1 年以上前の 1976 年 2 月 3 日には、ドライビング・スクールの創設を決定していました。この決定を実行するため、ただちに必要な各方面との接触が開始されました。8 月には、当時 BMW Motorsport GmbH の社長を勤めていたヨッヘン・ネールパッシュと長年にわたりドイツ自動車クラブ (AvD) のスポーツ部門を担当していたボリス・フォン・ブライトンブッホが、多岐にわたるトレーニング・スケジュールに大枠で合意しました。



フィンランド出身のプロフェッショナル・ラリー・ドライバー、ラウノ・アルトネンとフォン・プライテンブッホは、ドライバー・トレーニング・コースで 2 年間、コーチの経験がありました。この 2 人の専門家による厳しい授業は、BMW が追求するプロフェッショナルとしての高い完成度という方向性に見事に一致していました。この段階でしなかったのは、日常の交通でドライバーが経験する問題となる状況に、レースで培ったプロの技術がどのように役立つかを正確に分析することでした。プロの技術のひとつは、コーナーに進入するときの正しいライン取りとブレーキング・ポイント、さらにステアリングのポイントを見極めることです。したがってネールパッシュが、ボリス・フォン・プライテンブッホをトレーニング・ディレクターに、またラウノ・アルトネンをチーフ・インストラクターにそれぞれ任命したのは当然の決定だったといえます。

1977 年のトレーニング・スケジュール：

正しい栄養摂取、早朝のジョギング、故障時の対処

少なくともチームのトップ・メンバーが決まったところで、次の段階はコース開催に適した会場の確保、使用車両の選択、そしてトレーニング・スケジュールの立案でした。実際、コースとプログラムの作成には、たとえば、フライブルク大学のスポーツ・ドクター、ヨゼフ・ケウル教授によるレースおよび日常交通でストレスが発生する状況の研究など、科学的なノウハウが注ぎ込まれました。

したがってトレーニングの内容も多岐に渡っており、「運転時のストレス」の講義から正しい栄養の取り方、交通心理学までを網羅し、30 年前に行われたすべてのコースのハイライトとなっていました。そのほか、早朝に行われる長距離ジョギング、スポーツ・インストラクターの指導によるエクササイズ、および故障時の対処（ブレイクダウン・アシスタンス）のコースなどが用意されていました。

現在、理論の講義は技術的側面や走行物理学に重点が置かれるようになったものの、実技トレーニングは一般の交通から遮断されたコースやサーキットで BMW のクルマやモーターサイクルを使って行っており、基本的なスタイルは変わっていません。このようにすることで受講者全員が同じ条件でトレーニングを受けることができ、ブレーキングやパワー・スライドの練習でタイヤやブレーキの磨耗を気にせずトレーニングに集中することができるよう配慮されています。

1977 年の開始時は BMW 320i を使用

ドライバー&セーフティ・トレーニングの最初の年は、テストを兼ねたトレーニング・カーとして多くの BMW 320i を使用しました。これは最高出力 125 ps の初期型 BMW 3 シリーズで、シャシーを専用にセッティングし、ロック率 40% のファイナルドライブおよびスポーツ・バケット・シートを装備していました。それ以来、台数、バリエーションとも増え、現在では 250 台以上のクルマと 100 台以上のモーターサイクルが使用されています。

現在使用しているモデルは主に BMW 130i、BMW 330i、MINI Cooper S があり、M トレーニングでは BMW M3 と BMW Z4 を使用しています。また、オフロード・トレーニングやウィンター・トレーニングでは、xDrive (四輪駆動テクノロジー) 搭載車両も使用しています。BMW コンパクト・トレーニングおよび BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングの場合、参加者が自分の車両を持ち込んでトレーニングを受講することができる場合もあります。

開始後数年のうちには、ドライバー・トレーニングの需要が増え、それだけでなくトレーニングのオプションも急速に多様化することになりました。1980 年代にはすでに年間 2,000 名以上のドライバーが参加し、さらに高度な運転技術を習得するようになりました。1990 年代に入るとトレーニング・コースがモジュール化され、さまざまな要望に応じて世界各地で BMW ドライバー・トレーニングを開催することにも力を入れるようになりました。また、この頃からインストラクターの技量の標準化にも着手し、現在では世界中どこでも変わらぬ高いレベルのトレーニングを提供することができるようになっています。

ステップ・バイ・ステップで優れたドライバーを育成

レベルに応じて段階的に進む実習形式のトレーニングというコンセプトは、1990 年代中頃にはほぼ確立されていました。このモジュール方式のトレーニング・プログラムは、初心者でも経験を積んだドライバーでも、運転技術の向上、危機的な状況把握力の強化、反射神経の反応時間の短縮などを着実に達成してきました。トレーニングの各ステージは他のステージとも密接に関係しているため、参加者は段階を追って技術を磨くことができるようになっています。このように、現在では 23 種類以上の BMW トレーニング・コース、4 種類の MINI トレーニング・コース、17 種類のモーターサイクル・トレーニング・コースが用意されています。

厳選され、完璧に整えられた会場とコース

BMW ドライバー&セーフティ・トレーニングの参加者は、一般の交通から隔離された会場を使い、常に最適な条件下でトレーニングを受けることができます。当初は BMW の自社のテストコースやこの目的のために特別に用意された飛行場などを会場にしていました。トレーニング内容の拡大に伴って、その他の会場も使用するようになりました。

一方、BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングおよび MINI ドライバー・トレーニングと並んで、BMW コンパクト・トレーニングやアドバンスド・トレーニングなどは、ドイツ各地の会場で開催されるようになりました。さらに、F1 のレース会場となるオーストリアのサーキットではサーキット・トレーニングが、スウェーデンではウィンター・トレーニングが、それぞれ開催されています。また 1997 年の設立以来、ミュンヘン空港敷地内にある BMW ドライビング・トレーニング・センターでは、目的別のインテンシブ・トレーニングが行われています。

ドライバー・トレーニングは当初からモータースポーツに注目

モータースポーツの世界では、特に安全に運転することが勝利の鍵となります。したがって、レースで上位に入るためには、自製の効いた走り、つまり冷静に走行することが重要な条件になります。そして、レースコースで理想的な走行ラインを習得する訓練は、「速さより安全を重視」という哲学に基づいて、必ず緩やかな速度から始められます。

この哲学は、BMW が自社主催のトレーニングを開催するずっと以前から、BMW がサポートしていたトレーニング・コースで実践されていました。これは、1958 年、ドイツ最大の自動車クラブである ADAC ハンザ・ハンブルク支部の提案により検討されたニュルブルクリンクでのスポーツ&レーシング・ドライバー・コースの開催を BMW が発表したときに遡ります。そのときの特筆すべきインストラクターは、世界記録を打ち立てたワールド・グランプリ優勝者のハンス・シュトゥックで、BMW 507 スポーツカーを使用しました。

その当時、募集した参加者は、モータースポーツで頭角を現す若いドライバーでした。しかし、その後間もなく一般のドライバーからもプロフェッショナル・レーサーのサポートやアドバイスを求める声が上がリ、それに応じて BMW クラブ・アソシエーションはスペシャル・ドライバー・トレーニング・コースの開催を計画しました。

こうして 1964 年の 4 月、一般向けに「BMW で運転技術を向上」と謳ったコースが初めて開催されました。パンフレットで「アドバンスド・ドライビング・スクール (上級者向け運転教習)」と紹介されたこのコースで、参加者は走行力学の可能性や限界を学び、公道で遭遇し得る危険な状況を認識し、安全に回避する方法を習得しました。

ニュルブルクリンクの会場では BMW AG のメカニックが技術的なサポートを提供し、参加者はトレーニングの目的に応じてセクションに分割されたサーキットを経験豊富なレーサーと共に走行しました。

トレーニング・セッションでは厳しい「追い越し禁止」の規則が設けられ、またコースの理想的なラインを探る上での哲学が「速さより安全を重視」であった反面、参加者は競争心を示すことも求められました。したがって、コーナーの進入から脱出、ブレーキングの正確性、レーン・チェンジのスムーズさ、および「センス」などを、インストラクターがポイント制で採点しました。

ラウノ・アルトネン 理論と技術の両面を教える適任者

BMW ドライバー・トレーニングの初代チーフ・インストラクターは、スポーツ走行と日常の運転技術の両面で卓越していました。ヨーロッパ・ラリー・チャンピオンであり、モンテカルロ・ラリーで何度も優勝経験を持つラウノ・アルトネンは、1970 年代には運転技術だけではなく、自分の知識を生徒に教えることでも独自の才能を発揮していました。

BMW ドライバー・トレーニングの開始から 2 年後、彼はトレーニングでの主な経験を、読者が愉しみながら学べる指導書『Revolution at the Wheel (ドライビング革命)』として著作にまとめて出版しましたが、発売日にはほぼ完売してしまいました。

同書の中でアルトネンは、レーシング・ドライバーが「普通のドライバー」に日常の運転をトレーニングする動機について、極限状態でのドライビングに慣れているドライバーは、一般の道路ではかなりの余裕がある。この余裕を一般のドライバーが持つことができれば理想的だ。これこそが、本書を通して、また BMW ドライバー・トレーニングを通して、私が常に目指していることだ。われわれの願いは、車両の安全性を向上するだけでなくより良いドライバーを育成することであり、ドライバー、車両、および交通環境を全体として捉え、それをより安全なものにすることだ。」

同書では、走行力学と路上における車両の挙動を中心に取り上げています。例えば「コントロール・サークル」を示し、ドライバーの技術、車両のハンドリングと性能、そして天候などの外的要素がどのように相互に影響し合うかを説明しています。現在でもアルトネンの研究と経験は BMW グループ・ドライバー・エクスペリエンスの理論講習に生かされています。

道路状況の変化に応じて BMW ドライバー・トレーニングも変化

ラウノ・アルトネンが著書の中で説明しているトレーニングは、1970 年代の技術や装備品に基づいたものです。当然ながら、それ以降も BMW ドライビング・エクスペリエンスのトレーニングは、時代やクルマの変化に合わせて進化し続けています。

現代のクルマは、アクティブ・セーフティもパッシブ・セーフティも大幅に向上していますが、一方その他のリスク要因は変化していません。アルトネンの時代にも、混雑した道路でのドライバーのイライラ、制動距離の判断ミス、各種のストレス要因などが事故の原因として認識されていました。現在の、より密度が増した交通状況は、ドライバーにとっては 30 年前よりもさらに厳しい環境になっています。

現代のテクノロジーを理解し、自在に扱う

一方、現代の技術は、その近代的なシステムを正しく使えば高い性能を発揮します。

ドライバー&セーフティ・トレーニングの初期の頃。例えば、ブレーキ操作の実技訓練は今日とは大きく異なるものでした。当時は、必要に応じてブレーキ・ペダルを力いっぱい踏み込むように指導されていました。もちろん、これによりタイヤがグリップを失うことも認識されていましたが、人間の足で「ポンピング」する操作は余分な時間がかかり、かえって制動距離が伸びることになるという理由から、この方法を推奨していたのです。

しかしながら、現在は電子制御のアンチロック・ブレーキ・システムがあらゆるクラスの車種に標準装備されるようになりました。これにより、できるだけ素早くブレーキ・ペダルを一杯に踏み込むというルールは今も同じですが、現代のテクノロジーではこの操作がさらに効果的になり、制動距離を短く抑えると同時にドライバーがホイールをコントロールできる幅も広がりました。

現代でも走行中の物理法則を基本に据える

現在、高速でコーナリングする際の車両の挙動は、1970年代には誰も知らなかった補助システムでサポートされています。ダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)は、各ホイールに対して個別にブレーキをかけ、また駆動力を制御することでオーバーステアやアンダーステアの傾向を打ち消します。

このような走行状況は、今日の BMW グループのトレーニングでも走行中の物理法則の限界を理解する基礎として積極的に採り上げています。そのため、参加者はDSC をオフにして走行することで車両の運動特性を体験し、車両の安定性を維持するための現代のシステムのメリットを学びます。

BMW グループの車両および BMW グループのドライビング・エクスペリエンス・トレーニング・プログラムの両方において、BMW グループは安全への可能性を追求し、革新を続けていきます。その最新の一例は、ダイナミック・パフォーマンス・コントロールおよびダイナミック・スタビリティ・コントロールによる追加機能で、さらに高度な走行安定性、トラクション、および俊敏性などを実現します。

3. トレーニング・プログラム :

3.1 BMW ドライバー・トレーニング

BMW ドライバー・トレーニングは、熱心なドライバーの運転技術を向上させるだけでなく、完璧といえる状態まで近づける機会を提供しています。コンパクト・トレーニングに参加するような初心者も、サーキット・トレーニングに参加するようなスポーツ志向を持ち積極的で経験を積んだドライバーも、次のような 2 つの成果をあげることができます。その 1 つは、クルマをより安全に走らせること。そして 2 つ目は、より大きな「駆けぬける喜び」を、より意図的に楽しむことができるようにすることです。

BMW ドライバー・トレーニングでは、経験豊かで資格を持ったインストラクターの指導のもと、日常交通におけるあらゆる状況において正しい判断と行動をすることでクルマやモーターサイクルを安全に乗りこなす方法を学びます。さまざまな練習を完了すると、受講者はクルマとの一体感を体得することができ、これを公道走行に生かすことができます。したがって、受講者はコンパクトまたはアドバンスド・トレーニングのたった 1 日で得た知識と技術から、長期間にわたる恩恵を受けることになります。そして、運転技術の向上を経験した参加者の多くは、さらに向上したいと願うようになります。

このような期待に応え、BMW ドライバー・トレーニングでは最終的にはサーキット走行で理想のラインを習得するアドバンスド、インテンシブ、パーフェクションの各段階によるプロレベルのトレーニングを用意しています。

また BMW ドライバー・トレーニングでは、非常に厳しい条件や特殊な走行状況を設定したコースやツアーも開催しています。荒れたオフロードや砂漠、雪の積もった路面から凍結した湖の表面まで、幅広いトレーニングを選択することができます。常にクルマを意のままにコントロールするためのポイントとしてすべてのトレーニングで共通して求められるのは、どのような状況でも常に予測を立て、すばやく適切な行動を起こすことです。

半日コース :コンパクト・トレーニング

このトレーニング・ユニットは、「標準的な」ドライビング・スクールを終了したところから始まります。通常は、公道を走行するための免許を取得するための講習を受けますが、BMW ドライバー・トレーニングは広い面積の「隔離されたエリア」を使って、限界に近い走行状況を体験する機会を提供しています。



半日コースのコンパクト・トレーニングに参加すると、安全な運転技術と冷静な対応を基本から学習します。他のトレーニングと同様に各ユニットは小さなグループに分かれて実施するため、インストラクターは潜在的な危険の状況を低速でシミュレーションし、正しい対応を教えながら、各受講者の長所や短所を把握して進めることができます。またこのコースでは、自動車工学、走行における物理法則の基礎、理想的な運転姿勢、車重と装着しているタイヤに応じてどのような挙動に結びつくのか、といった理論の講義も行います。

スキッド・パッド(一定半径の円形コースを旋回し、車両のコーナリング性能を試験するための路面)上での走行で、オーバーステアおよびアンダーステアの感覚を習得します。また、特に興味深い体験としては、ダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)をオンにした場合とオフにした場合の走り比べです。

さまざまな新聞やメディアとも協力しながら、BMWはドイツ各地で18才~25才までを対象にした若いドライバーの育成のため、受講料を通常の半額に割り切ったトレーニングを積極的に提供しています。このトレーニングでは、特に若いドライバーに対して、安全および責任とは何かということと、それらが持つ意味の大切さを実地で紹介しています。

躍動感あふれる走りの基礎を築く:アドバンスド・ドライバー・トレーニング

BMW アドバンスド・ドライバー・トレーニングも同様に、日常の走行において遭遇する可能性のある危険な状況を回避することに焦点を当てています。例えば、通常の市街地の走行速度で行うブレーキングおよび回避練習と、コーナーにおけるダイナミックなステアリング操作や走行練習が組み合わされています。また、ブレーキ操作が必要な状況を具体的に想定して適切なブレーキ操作を体得したり、高速でコーナーに進入して意図的にアンダーステアやオーバーステアを引き起こす練習なども行います。

この1日コースのアドバンスド・ドライバー・トレーニングはコンパクト・トレーニングの次の段階に位置し、市街地での安全な走行に重点を置いています。コンパクト・トレーニングと同様、このコースも参加者一人ひとりが成果を出せるよう10名以下の小グループでBMW 330iを使用して行います。このトレーニングは、スラロームのタイムトライアルで締めくくります。

コンパクト・トレーニングを修了し、BMW 130iのよりダイナミックな走りを楽しみたいと願う若い受講者に対しては、特別な条件で行うアドバンスド・コースも用意しています。また、経験を積んだドライバー向けにサーキットでBMW M GmbHの各モデルを使用して行うスペシャル・トレーニングも実施しています。これらは基本的な練習以外に、インストラクターの指導のもと理想的なラインを辿りながらサーキットを周回する機会も与えられます。

サーキット走行を体験する :BMW インテンシブ・トレーニング

BMW アドバンスド・トレーニングでは、日常の交通状況における予期せぬ事態に対し、冷静に余裕をもって回避できる自信を付けます。

しかし、ドライビングやライディングのスキルをさらに高め、より深い知識を学びたいと願う参加者も多く存在します。この要望に応えるのが、厳選されたレース・コースで BMW 330i を使って開催される BMW インテンシブ・トレーニングです。2 日間行われるこのトレーニングは、低速走行から始まり、徐々に高速でのトレーニングへと移行していきます。ここではスムーズな走りをするための運転操作と予測運転について、さらに集中的なトレーニングを行います。その他のハイライトとしては、コーナーでの正しいブレーキ操作と常に理想の走行ラインを維持する秘訣などを採り上げています。

このインテンシブ・トレーニングでも、低速コーナリングから始まり、感覚をつかみながら徐々に速度を上げてゆきます。参加者は、わずか 1 時速 100 キロの速度でさえ、コーナーへの進入にとって正しい操舵タイミングを掴むことと、常に回転半径を維持することがどれほど難しく、また大切なことであるかを学びます。

インテンシブ・トレーニングが進み、コーナリングを体験するたびに、また段階を経るたびに、参加者の技量は上達します。そして速度を上げるにしたがって、駆けぬける喜びも大きくなります。最終的にはペースカーの先導で、最高速を目指すのではなく、最も正確に理想の走行ラインをトレースしながらサーキットを周回します。

理想的な走行ラインを習得 :BMW パーフェクション・トレーニング

2 日間の日程で行われる BMW パーフェクション・トレーニングでは、理想的な走行ラインを習得することをドライビング・スキルの最終的な目標に設定しています。またインテンシブ・トレーニングで練習したドライビング・テクニックを、運動性能に優れた BMW の車両でさらに磨きをかけます。また、このトレーニングのハイライトとして、スキッド・パッドでのパワー・ドリフト(アクセルのオン/オフで車両の姿勢をコントロールする技術)の練習、緊急時のブレーキングや危機的状況の回避方法を学びます。

参加者に最高レベルの運転技術を習得してもらうため、パーフェクション・トレーニングはニルブルク・リンク、ホッケンハイム・リンク、あるいはその他のヨーロッパの F1 開催サーキットで行われます。その他の数日間にわたるトレーニングと同じく、宿泊施設、食事や飲み物は BMW が用意します。

モータースポーツ・ファンのために :サーキットでのスリルを体験

パーフェクション・トレーニングは、スポーツ志向で野心的なドライバーを卓越した技術を備えたエキスパートに育てるだけではなく、BMW ドライバー・トレーニングの最高峰である「Thrill of the Race Track (サーキットでのスリルを体験)」に参加するための条件にもなっています。このコースでは、経験を積んだ参加者がさまざまな種類のコーナーで自分で理想の走行ラインを見極め、高速で周回を重ねても常に同じラインをキープできる技術を習得します。サーキット・トレーニングは参加者各人の技術向上に最適です。したがって、「ウォームアップ走行」のときから参加者は極限まで運動性能を引き出す努力をし、サーキットに飛び出して行きます。

このコースは、国際的な F1 サーキットで行うため、参加者はヘルメットの着用を義務付けられており、現役のレース・ドライバーを含むモータースポーツで経験を積んだインストラクターに指導を受けることができます。

伝説 :ニュルブルクリンク北コースでのサーキット・トレーニング

ニュルブルクリンク北コースでのサーキット・トレーニングは、実際のレース・コースを直接体験してみたいと願うマニアのために開催されます。この 2 日間のトレーニングではペース・カーを追走し、ドライバーが理想的なラインを学びます。

理想の走行ラインを「装備」:BMW トラック・トレーナー

2007 年現在、BMW ドライバー・トレーニングの参加者は、理想的な走行ラインを習得するための新しく貴重なアシスタント「ツール」を使うことができます。それが「BMW トラック・トレーナー」です。この先進のシステムを搭載した車両は、BMW ドライバー・トレーニング用に貸し切られたサーキット・トレーニングで、理想的なラインを「自動的に」走行することができます。

このトレーニング用に理想的な走行ラインをプログラムするため、経験豊富なドライバーが理想的なラインでサーキットを数周走行し、その間にシステムが車両の位置、横方向加速度、アクセル・ペダルの位置、操舵角度などの必要なデータや車両側のパラメーターを記録します。このデータはシステムのコンピュータに取り込まれ、コースの「ターゲット・ライン」を計算します。そして、練習走行を現実に近い状態にするため、システムはコンピュータが計算した「理論上のライン」ではなく、経験を積んだドライバーの実際の走行ラインを重視します。

トレーニングの最初の段階では、参加者はデモカーに乗って周回を重ねます。このとき、参加者はリラックスした状態でステアリングに軽く手を置き、自動操舵による感覚を体験します。このとき同時に、正しいステアリング操作とブレーキのポイントを学びます。この方法の場合、仮に経験を積んだドライバーでも自身のドライビング・スタイルの弱点を把握することができます。このとき、参加者一人ひとりに対してインストラクターから適切なアドバイスが与えられます。

次の第 2 段階では、参加者は「フィードバック・カー」と呼ばれる車両に乗り込みます。この車両に搭載されているコンピュータにも理想的な走行ラインがプログラムされていますが、デモカーと違って自動的にこのラインをトレースしません。その代わりに、このクルマはドライバーが理想的なラインから外れて走行した場合に、視覚的、手ごたえ、あるいは音響で警告されます。選択した設定により、メーター・パネルの右側または左側の発光ダイオード(LED)、フロントガラスへの投影、またはステアリングのスポークがわずかに振動すること、オーディオ・システムの右または左のスピーカーからの警告音によって、理想的なコースから逸脱していることを知らされます。

これによりドライバーは、ただちに対応動作を行うか、または次の周回で修正を行います。このように、参加者が理想的な走行ラインから外れた場合に直接的なフィードバックを得ることができるため、そのコースの理想的なラインを、素早く、効率的に「学習」し、それに「適応」することができます。

学習の第 3 段階では、ピット(サーキットでメンテナンスや修理を行う側道施設)で走行データを評価します。ここで参加者は、インストラクターと協力して参加者がフィードバック・カーで走行した際に記録したラップ(周回タイム)やデータをコンピューターに読み出します。コンピューターは、参加者の走行ラインとあらかじめ記録されていた理想的なラインを比較し、これを基に参加者とインストラクターが上達のポイントを話し合います。

このように、BMW トラック・トレーナーは参加者に理想的な走行ラインを走行させ、調和の取れたスムーズな走行感覚を伝え、より高い技術でクルマを自在に操る方法を示すのです。

高度な多様性 :BMW X5 を使ったドライバー・トレーニング

BMW ドライバー・トレーニングは、人里離れた土地におけるオフ・ロード運転の技術を向上させる機会も提供しています。極めて過酷な地形を試し、学ぶのに最適なクルマは BMW X5 であり、この BMW の傑作スポーツ・アクティビティ・ビークル (SAV) を使って、オールロードおよびオフロード・トレーニングを行っています。オールロード・トレーニングでは、参加者はさまざまな路面とコース状況で運転技術を学びます。第 1 日目の前半はミュンヘン空港内の BMW ドライバー・トレーニング・センターで行い、後半はミュンヘンの北にあるインゴルシュタットのオフロード・パークでトレーニング・セッションを行います。ここでは、さまざまな難しい課題をこなしながら、参加者は BMW xDrive 四輪駆動システムのすべてを学び、その優れたテクノロジーを体感します。

オフロード・トレーニングは人間にとってもクルマにとっても同様に過酷なもので、参加者には BMW X5 に乗って過酷な地形やコース状況を克服することが求められます。このトレーニングではトラクション(駆動力の伝達)に関する基本的なルールを理論と実践で学び、地上高、操舵角度、およびオフロード走行に必要なその他のポイントを含むあらゆる課題を採り上げます。これらのコースは、ドイツのランゲンアルトハイム(Langenaltheim)オフロード・パークで開催されています。

凍結路や積雪路での優れた安全性 : ウィンター・トレーニング

凍結した路面や雪の積もった路面は、常にドライバーにとって大きな課題です。しかし、ウィンター・トレーニングで十分な経験を積んだドライバーなら、寒い季節に遭遇する課題を恐れることなく冬を迎えることができます。オーストリアにあるエッツタール渓谷のゼルデンで美しいアルプスを背景に行われるウィンター・トレーニングでは、参加者は冬季のドライブのために知っておかなければならないことをすべて学ぶことができます。このコースでは、積雪路を知り尽くしたインストラクターが、冬季の道を安全に走行するために役に立つさまざまなブレーキング・テクニックやステアリング・テクニックをデモンストレーションします。この 2 日間のトレーニングでは、BMW が用意した BMW 330i を使い、トラクションがかりにくい場合の運転方法や、車両がスライドしている場合の適切なコントロール方法などを学びます。また、リスクを低減するために危険な状況を予測し、その状況に備える方法も紹介します。

このウィンター・エクスペリエンスの最後には、さまざまな大きさのクルマを使って、その挙動を試し、体感します。このトレーニングには、xDrive 搭載の BMW 5 シリーズや 3 シリーズ、あるいは BMW X5 や X3 などのスポーツ・アクティビティ・ビークル (SAV) を使用します。

2007 年からは、スポーツ走行に関するウィンター・トレーニングとして、オーストリアのルンガウで 1 日または 2 日間のトレーニングを開催しています。ここにはさまざまな難コースが用意されており、参加者はブレーキング、回避行動、パワースライド、ドリフト、さらに正確なスラローム走行などを練習することができます。意図的にクルマを 180° ターンさせる練習では、遠心力を体験するとともに、そのような状況でも車体をコントロールするための方法を学びます。これらを学習することで、積雪路や凍結路などの厳しい条件下での方向維持や連携操作の上達につながります。

スウェーデンの積雪路および凍結路で開催される BMW ウィンター・トレーニングではさらに高度なトレーニングを行っており、冬季の走りを極めようという向上心溢れるドライバーが極限状態での運転を学ぶことができます。このトレーニング・プログラムは 2 つのステージに分かれています。スウェーデン南部で行われるウィンター・トレーニングでは、オーストリアのトレーニング同様、悪路や過酷な条件下での安全な運転方法を学びます。

スポーツ志向の積極果敢なドライバー向けに行われるウィンター・パーフェクション・トレーニングでは、滑りやすい路面でも余裕を持ってスライド走行をするテクニックを身に付けることができます。凍結した湖などの広々とした場所を利用し、さまざまな状況における意図的なパワースライド、180° ターンなど、さまざまな操作を学ぶことができます。これらの練習には、セッションによって異なりますが、BMW の M モデル、BMW 3 シリーズ・クーペ、BMW X3 や X5 などが用意されています。

BMW X5 で地の果てまで :ナミビア体験ツアー

8 日間のナミビア・ツアーの参加者は、日常では体験できないスリルを体験します。このツアーでは、BMW X5 でナミブ砂漠とエロンゴ山脈の砂地や砂利道を走行します。このような悪路を走る方法を学ぶ以外にも、参加者は地図と GPS を使った走行についても学習します。

最適な効率で走行 :BMW エコノミー・トレーニング

BMW エコノミー・トレーニングに参加すると、実用的なメリットを得られるだけでなく、それと同じくらい興味深い走りを体験することができます。その名が示すとおり、エコノミー・トレーニングでは燃料消費量を抑えた経済的な走行を練習します。このコースの参加者は、正しいシフト・ポイントや正しい加速の仕方などについて、郊外の長距離ツーリング、高速道路、市街地などの状況に応じてインストラクターの指示を受け、燃料を節約するための実用的な方法について、発見に満ちた体験をします。このトレーニングには BMW 330i を使用しています。

一貫して高い安全性 :BMW セキュリティ・トレーニング

BMW グループが顧客の運転技術に対する自信を養うために蓄積してきたノウハウは、防犯車両に携わるドライバーのトレーニングにも生かされています。防犯車両 (セキュリティ・ビークル) のドライバーは、BMW が開催する 3 ステップの特別トレーニングを受講することができます。BMW セキュリティ・トレーニングは、防犯装備付きの車両と「標準的な」車両の両方で行い、乗員を目的地まで安全に送り届けるため、さまざまな困難な状況にも余裕をもって対応できるようにするための技術を習得します。

セキュリティ・トレーニングでは、防犯上の課題をさまざまな角度から検討します。警備会社のドライバーや個人のドライバーが、極限的な状態に対処するための最高レベルの運転技術を学びます。また、このコースのハイライトのひとつは、交通の流れの中で効果的に攻撃から逃れる方法です。ベーシック・セキュリティ・トレーニングでは、走行力学に関する基本的な知識や、日常の運転での課題とその安全な対応についてを学びます。

セキュリティ・ドライバーのアドバンスド・トレーニングでは、高速でのダブル・レーン・チェンジ (走行車線上の障害物を緊急回避し、すぐに元の車線に戻る方法) や危険な地区からただちに脱出するための方向転換など、さらに高度な運転スキルを習得します。

さらに上のレベルのインテンシブ・セキュリティ・トレーニングでは、すでに習得しているスキルの向上を目指します。ここでは、さまざまな車種を使った戦術的な方向転換の方法や、後退しながらのスラローム走行などを習得します。また、このトレーニングのハイライトとして、夜間走行、隊列走行、悪路走行など、特に要求の多い課題を採り上げます。

BMW セキュリティ・トレーニングは世界各地で実施されていますが、ドイツではベルリン北東部のグロス・ドルン・ドライビング・センターで行われています。実地トレーニング用車両として、BMW 1シリーズまたは3シリーズ、ハイ・セキュリティ仕様のBMW 7シリーズ、またセキュリティ仕様のBMW X5を使用します。

このトレーニングのインストラクターは、BMW ドライバー・トレーニングに必要な通常のスキル以外に、防犯仕様の車両に関する長年の経験を積んでいます。セキュリティ・トレーニングの受講者は、大手警備会社だけでなく、世界中の外交関係者も含まれています。大使館関係者全員でBMWグループが開催するセキュリティ・ドライビング・プログラムを受講している例もあるほどです。

3.2 MINI ドライバー・トレーニング

その魅力あふれるハンドリングだけ見ても、MINI は本物の走りの体験を提供します。MINI をいつでも安全に運転できれば、楽しみはさらに広がります。

MINI ドライバー・トレーニングは、この素晴らしい体験のための理想的なメニューを用意しています。受講者は、経験豊かなインストラクターの知識だけでなく、ためになるプログラムや楽しめるプログラムを通して学習します。

哲学：「より安全に、より愉しく。」

2003 年から開催している MINI ドライバー・トレーニングでは、BMW グループはより多くの新しい顧客に、高いレベルの安全運転技術を提供することを目指しています。このプログラムを通じて MINI ブランドのファンに交通の流れの中での安全運転への意識を高め、プロフェッショナルの力を借りて運転技術を向上させる機会を提供します。

車両の技術的な側面、走行力学（物理学法則）、そして自身の運転技量を知ることで、高い意識と冷静さをもって運転するという目標の達成が容易になります。その後、路上における安全かつ品位ある振る舞いについてを紹介し、実地訓練を行います。言うまでもなく「MINI」という名前があるからというだけでなく、「より安全に、より愉しく」というトレーニング哲学に従って、このトレーニングは楽しい雰囲気の中で行われます。

安全に焦点を当てた 3 つのトレーニング・コース以外に、レースをテーマとしたプログラムも用意している MINI ドライバー・トレーニングは、より幅広い層の顧客の要望に応え、参加者が楽しめる数々の活動を展開しています。

MINI のフィーリングを知るプロフェッショナルなインストラクター

MINI ドライバー・トレーニングのインストラクターの全員が、高い運転技術とさまざまな資格を持っています。エンジニアやテスト・ドライバーとしての長年の経験を通じて MINI に関する多くの経験を持つだけでなく、BMW グループの厳しいインストラクター資格を取得しています。それに加え、インストラクターとそのチーム全員が MINI ワールドに精通しているため、MINI ドライバー・トレーニングには独特の雰囲気がかもし出され、専門的で安全性に特化したトレーニングと MINI 独自のフィーリングとの組み合わせで、学習した経験が長く残るよう工夫されています。

「脳を鍛えよ」- 理論を愉しく学ぶ

すべてのトレーニング・コースは、「脳を鍛えよ」をモットーとし、理論の講義から始まります。この非常にためになる導入コースは、速度と走行力学の関係をよく理解できるように考案されており、MINI の挙動を理解する上で非常に重要な自動車技術、エンジンの特定の機能、サスペンションおよびボディシエルなどの基本的な知識を習得します。さらに、一人ひとりに合った正しい着座位置と運転姿勢も伝授されます。

これらすべての知識に基づいて、参加者は人と機械とのコミュニケーションについても学びます。このような方法で理論を学ぶため、普通なら退屈してしまうこの種の講義も非常に楽しく学習することができ、その次の実技講習にもスムーズに取り組めるようになっていきます。自動車の性質や機能を学習することとドライバーの技術を知ることとは、MINI を運転する上で安全と喜びを得るための重要な基礎となるのです。

無謀なリスクを冒すことなく限界を知る：

MINI ドライバー・トレーニング・スターター・パック

理論で感動できるような事柄は、現実ではさらにスリリングです。このスリルを体験するために、参加者は閉鎖されたコースで MINI Cooper S を愉しみながら、さまざまな練習に臨むことができます。ブレーキングと回避運動、市街地走行速度における急な車線変更などの体験を通じて、MINI ドライバー・トレーニング・スターター・パックの参加者は、自身で反応を確かめながら少しずつドライビングの限界へ近づくことができます。トレーニングで極限状態を学習したドライバーは、「現実の世界」で危機的な状況に遭遇したときにも落ち着いて対処できる、ということを学ぶことがこのコースの狙い입니다。

この余裕こそが MINI ドライバー・トレーニングのテーマです。緊急ブレーキ、アンダーステアの対処方法、エージェント・ターン (Agent Turn) などの練習を通し、参加者は自由に MINI を操ることができるようになります。

さらに、起り得る危険の予測についても学習します。これにより潜在的に危険な状況を前もって予測し、よりの確で冷静な対処ができるようになります。この場合も、新しく学ぶ技術は常に冷静な運転を可能にするためのものです。

1 日コースのスターター・パックを締め括るのは、MINI コンテストと名付けられた、スラローム競技です。ただし、スピードだけを競うわけではなく、いかにスムーズに、いかに美しいラインでパイロンの間を駆けぬけるか、という点も評価されます。

MINI ドライバー・トレーニング・スターター・パックは、ドイツ各地で開催されています。ミュンヘン空港内の BMW ドライバー・トレーニング・センターで開催されるコース以外にも、ホッケンハイムリンク、ベルリン北西のグロス・ドルン、リュネブルク、カッセル、ライプチヒ、グリュンダウタルおよびフランクフルト近郊のグレーフェンブローヒでも開催されています。これらは全て、広々としたコースを備えているばかりでなく、各種の路面、散水設備および十分な退避ゾーンなどが設けられた厳選された会場ばかりです。

理想的なラインによる優れた安全性：

MINI ドライバー・トレーニング・パワー・パック

MINI ドライバー・トレーニングに参加した人たちはほぼ全員、次の段階に進み、もっとスリリングな体験をしたいと望んでいます。こうした要望に応じて BMW グループが開催しているのが、MINI ドライバー・トレーニング・パワー・パックです。このコースではより高速での走行練習を行います。安全で冷静な運転を習得するという目標は同じです。

MINI ドライバー・トレーニング・パワー・パックも、理論の講義から始まります。その後、学んだ理論を確認するため、最高のクルマである MINI Cooper S を使って世界有数のサーキットを走ります。ここで行われる課題には、より高速域でのブレーキング、急ハンドル、ダブル・レーン・チェンジ、S 字ターンなどが含まれています。またこの厳しいコースの終盤には、ペースカーの先導で理想的なラインを走行します。

MINI ドライバー・トレーニング・パワー・パックは、充実した環境を持つ著名なサーキットで 4 月から 10 月まで開催され、開催地はフランクフルトから程近いホッケンハイムリンク、オーストリアのザルツブルクリンク、そしてオランダのザントフォールトとなっています。

凍結路と積雪路を克服し、自信をつける：MINI ウィンター・パック

2007 年から MINI ウィンター・パックが開催され、冬季の条件でも MINI を安全に愉しむ方法を学ぶ機会を提供しています。オーストリアにある BMW グループのスノー・パークには、この高性能 FF 車を最適なスキルで乗りこなすための理想的な条件が整えられています。ブレーキングしながら障害物を回避するための方法、緊急レーン・チェンジ、バック・スピン・ターンなど数々のテクニックを練習した後、スラローム・コンテストで学んだことを全て発揮し、優勝を目指します。

MINI ドライバー・トレーニングもモジュール方式になっています。スターター・パックでは、初心者には技術的なトピックと MINI のハンドリングの理解と操作について紹介します。さらにパワー・パックでは、MINI Cooper S をサーキットでより高速で安全に運転する訓練を行います。

先日、ライセンス・トレーニングのプログラムが開設されました。そこでは MINI チャレンジに参加するために必要な A 級ライセンス取得のための技術をマスターできます。

MINI を運転するということは、自分のクルマと特に深い関係を築くことを意味します。MINI ドライバー・トレーニングは、こうした関係をさらに緊密なものにする機会をもたらします。参加者は、自分のクルマの技術的な特徴、走行に関わる物理法則、そして自分の技量を知り、また自分のクルマの正しい使い方、ハンドリングの仕方、さらには、MINI トレーニング専用確保されたコースで、日常起こり得る状況を再現するなど、さまざまな運転技術の練習を通して実用的な知識を身に付けられます。

このようにして自分のクルマを自在に操ることができるスキルを身につけることで、MINI のドライバーはより大きな運転の愉しみを感ずるだけでなく、道路交通の安全向上に積極的に貢献することになります。

レースの準備 :MINI レーシング・ライセンス

高速で行われる講習を心から愉しめる参加者なら、MINI レーシング・ライセンスを受講すべきかもしれません。2006 年から、MINI ドライバー・トレーニングの数々の革新的なコースに、さらに経験を積んだドライバー向けの、ドイツ・モータースポーツ連盟 (DMSB) 公認の国内 A 級ライセンス取得に必要な技術を習得するためのコースを用意しました。この 2 日半のコースでは、特に自動車工学およびレース戦略に焦点を当てた理論講習とレース条件での走行練習を含む実技講習が行われ、レース環境で自分のドライビング・スタイルを確立することができます。

このトレーニングの最後には、実際に MINI チャレンジで使用するレースカーでサーキット走行を愉しむことができます。そして、理論と実技を無事に修了した参加者には MINI チャレンジへの参加資格が与えられるため、MINI が登場するレースとしては最大規模のクラブ・スポーツ・シリーズのスリルを味わうこともできるようになります。このレースは全く同じ仕様のマシンで争うため、レースをリードし勝利を収められるかどうかはドライバーの腕にかかっています。

3.3 BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニング

BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングは、若い初心者ライダー、長年モーターサイクルを離れていて再挑戦するライダー、日常交通をより安全にそしてより愉しみたいと願う現役のライダーなど、幅広いライダーに最適なトレーニングです。俊敏にコーナーを駆けぬけるための正しいリーン方法（コーナーでのバイクと身体の傾け方）を磨きたいライダーでも、オフロードでの急坂の走破方法を身に付けたいライダーでも、各個人の技量や目標に合わせたトレーニング・プログラムで、目標に到達することができます。

自身もモーターサイクル・ファンで経験豊富なインストラクターは、より安全に、より上手に、そしてより愉しくライディングするためのトレーニングを通して、完璧なライディングの意味を参加者に伝えます。

トレーニングは、オンロードとオフロードの両方で行われ、初心者ライダーの要望にもレースへの出場や BMW HP2 でオフロードの悪路走破を目指すようなベテラン・ライダーの要望にも応えます。

さらに 2 つのハイライトとして、女性専用のエンデューロ・ライディング・コース、そして初心者スキル向上に大きく貢献する若者向けのトライアル・トレーニングを開催しています。

四輪車のトレーニング・プログラムと同様に、BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングもいくつかのステップにわかれています。自動二輪の免許を取ったばかりの初心者は、コンパクト・トレーニングで日常交通におけるライディング技術を習得し、自身の走りに余裕を得ることができます。アドバンスド・トレーニングでは、モーターサイクルとの一体感、および路上において周囲の特定の状況を感じ、適切に判断することを学びます。

オンロードモデルのトレーニングはミュンヘン空港内の BMW ドライバー・トレーニング・センターで行われ、適切なタイミングで危険な状態を察知する方法と、それを正しい技術で回避する方法を愉しみながら学びます。

これらのコースを修了後、さらにライディング技術を磨きたいと願うライダーには、サーキット・トレーニングおよびエンデューロ・トレーニングが用意されています。さらに最終段階として、高度なスペシャル・トレーニング・セッション、および特別な要望に応え、ライダーとマシンのいずれにとってもチャレンジとなり、高いレベルのスキルを試される体験ツアーも開催されます。

安全な入門コース :コンパクト・トレーニング

限界を越えて新たな領域に踏み出す – これが、BMW モーターサイクルの精神です。オンロードおよびオフロードのいずれのセグメントにとっても、BMW モーターサイクルは極めて厳しい要求に応えます。

モーターサイクルを完璧に楽しむために、ライダーはマシンを常に安全に、一貫したプロセスで操作することが重要です。これを始めから身に付けられれば理想的です。そのために BMW は若者や初心者のためのコンパクト・トレーニングを開催しており、BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングでは一般の教習所では教えない、その先のことを学ぶ機会を提供しています。一般の交通から遮断されたコースを走行するため、参加者は安全な環境下で危険な状況を想定した走行練習をすることができます。制動力や走行速度をさまざまに変えて行うブレーキ練習や回避運動、コーナーへの正しい進入方法などのトレーニングを通じて、参加者はライディング技術を向上させることができます。

半日コースのコンパクト・トレーニングには、特別な条件を満たす 18 才から 25 才の若者が参加できます。マシンは自分のものを持ち込むか、または BMW が用意したものを使用するか、どちらかを選ぶことができます。

ダイナミックな走り方を身に付ける :アドバンスド・トレーニング

アドバンスド・トレーニングのテーマも、日常交通における危険な状況への安全な対処です。したがって、参加者はスラロームの練習やコーナリングの技術を向上させることで、モーターサイクルを自在に操ることを学びます。このトレーニングによって、走行中に遭遇する不測の事態に対する対処が容易になると共に、ダイナミックな走り方を身に付け、新しい喜びを発見することができます。

コンパクト・トレーニング同様、アドバンスド・トレーニングも受講者 6 名ずつのグループ別で行います。各グループは、参加者の要望や技量によって分けられるため、インストラクターは各個人の長所や興味に合わせて指導することができます。

コンパクト・トレーニングを修了した参加者は、アドバンスド・トレーニングを特別価格で予約することができます。また、アドバンスド・トレーニングを自分のマシンで受けることもできます。免許を取得して間もないライダーは、BMW がトレーニング用として提供するさまざまなモデルの中から小排気量のモデルを選ぶことができます。

人とマシンの一体感を身に付ける :サーキット・トレーニング

モーターサイクルの能力の全てを試し、体験するためには、まずライダー自身の技術を磨かなければなりません。BMW モーターサイクル・サーキット・トレーニングは、まさにそのための機会を提供します。

他の交通から遮断された環境のサーキットを走ること、参加者は自分の長所と短所を探りながら、ライディング技術を少しずつ高めることができます。その過程では、スピードだけではなくマシンを安全にコントロールすることにも焦点を当てています。そのためインストラクターは、全てのコーナーにおいて理想的なラインを取れるよう徹底して指導します。また、さまざまなライディング・テクニックやブレーキング・テクニック、スムーズかつ安全にコーナーへ進入するためのリーン方法、さらに危険回避の方法を伝授します。こうして人とマシンが一体になれば、自然とラップ・タイムも短縮されます。

開催場所のサーキットはトレーニング専用に使われ、トレーニングは最大 8 名のグループ別で行われます。サーキット・トレーニングは、オーストリアのザルツブルクリンクや有名なニュルブルクリンクの北コースで行います。このトレーニングは参加者自身のマシンを使用しますが、BMW の最新型モーターサイクルを体験する機会も用意されています。また、BMW ライダー・トレーニングの自由な精神を反映して、他社製マシンでの参加も可能です。

スポーツ・ライディングを身に付ける :スーパーモト・トレーニング

コーナリングでギリギリまでマシンを倒しこむ、極限的な状況でブレーキングする、操る歓びを極限まで高める。BMW ドライバー・トレーニング・センターで行われる特別なトレーニングで、参加者は最新型 BMW G 650 Xmoto を使ったスーパーモトの走りを肌で感じることができます。この特別なトレーニングでは、インストラクターは受講者各人に注意を払い、段階的にレベル・アップするよう導きます。次々に課せられる厳しい課題でも、インストラクターから適切なアドバイスを受けながら克服することで、受講者は非常に高度なテクニックを短時間で身に付けることができます。スーパーモト・トレーニングは半日コースで開催され、参加者は 6 名に限定されています。

どんな地形でも走破する技術を身に付ける :BMW エンデューロ・トレーニング

BMW エンデューロ・トレーニングも、初心者から上級者までをカバーしています。参加者の希望や技量に応じて 1 日から 5 日間のコースが用意され、砂利道、泥道、林道などの厳しい条件にも対応できるようになります。難度はそれぞれ異なるものの、トレーニングの内容は全てのオフロード・ファンにとって理想的なものばかりです。したがって、ドイツ南部のヘヒリンゲン・エンデューロ・パーク、ベルリン近郊のグロス・ドルン、オーストリアのシュタイアにあるエルツベルクなど、どの会場のトレーニングに参加しても、受講者は BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングに期待するものを必ず得ることができます。

他のトレーニング・コンセプトと同様に、エンデューロ・トレーニングでも自分のマシンを持ち込むか、あるいは BMW が用意するマシンを使って練習することができます。オフロードの荒れた地形だけでなく、日常交通においても安全な走行に必要な技能を身に付けることができます。もちろん、このコースでも難しい課題やリスクの予測に重点を置いた練習をし、さらにオフロード走行を行います。

BMW Motorrad のヘヒリンゲン・エンデューロ・パークでは、最大 8 名の参加者による 1 日コース、2 日間コース、および 3 日間コースが行われます。初心者コースは、初心者やモーターサイクルにしばらく乗っていなかったライダーに最適なコースです。またこの 2 日間のコースでは、急坂での坂道発進や砂地走行などの難しい課題が用意されています。この 2 日間コースは、グロス・ドルン・ドライビング・センターおよびオーストリアのエルツベルクで開催されます。

女性のアクション 女性のエンデューロ・ライダーのための特別トレーニング

女性のエンデューロ・ライダーの数は年々増加しています。そのため BMW は、2006 年から女性専用の特別トレーニングを開始しました。その内容は他のコースと同様で、難易度としては 1 日の基本コースに相当します。この女性専用のコースは、ドイツ南部の BMW Motorrad のヘヒリンゲン・エンデューロ・パークで開催されます。

これからの若者に :BMW ヤング・ライダー・トライアル・トレーニング

プロフェッショナル・レーサーを目指すライダーは、できるだけ早くそのための練習を始めるに越したことはありません。このため BMW は、10 才から 17 才までの児童から子供を対象としたヤング・ライダー・トライアル・トレーニングを開催しています。BMW Motorrad が運営するヘヒリンゲン・エンデューロ・パークに集まった子供達はここで初めてモーターサイクルに触れ、「正式」なドライビングまたはライディング・レッスンを受けられるようになるずっと以前に、安全なライディングを身につけることができます。

BMW ヤング・ライダー・トライアル・トレーニングは、さまざまな路面を走行したり、難しい課題を克服することを通して若い参加者のライディング技術を磨くと共にモーターサイクルの楽しさを知るだけでなく、バランス感覚や状況把握能力を身に付けるための理想的な機会となります。特別な訓練を受けたインストラクターが、子供達がしっかりと理論を理解し、実技をこなせるようサポートします。こうして、子供たち自身でライディングの歓びを発見します。

全てのトライアル・トレーニングは 5 人のグループ別で行われます。トライアル用モーターサイクルが貸し出され、ライディング・ウェアも借りることができます。このコースに参加するには、身長 1 メートル 30 センチ以上、体重 30kg 以上という条件が設けられています。

上級エンスージアストのためのコース :HP2 エンデューロ・トレーニング

スペシャル・エンデューロ・トレーニングでは、BMW HP2 の性能をフルに活用します。このトレーニングは、BMW Motorrad のヘヒリンゲン・エンデューロ・パーク、ベルリン近郊のグロス・ドルン、およびオーストリアのエルツベルク・テスト・トラックで開催されます。1 日または 2 日間のコースがあり、参加者は過酷な地形でスポーツ・ライディングを練習します。そのため、参加にはある程度の経験が必要です。練習用のモーターサイクルは BMW が用意します。

さらなる高みへと誘う:BMW エンデューロ ツアー

BMW モーターサイクル・エンデューロ・トレーニングで習得したスキルを使ってさらに愉しみたいと願うライダーのために、かなりの技術を必要とし、過酷な条件でありながらも美しい大自然を走破する BMW エンデューロ ツアーを用意しています。特にフランスやハンガリーで行われるツアーは、定期的開催されるようになりました。

シー・アルプス・エンデューロ・ツアーでは、参加者はマシンを安全にコントロールすることだけでなく、目もくらむような高地での冷静さが求められます。この 7 日間のツアーで参加者は、標高 3,000 メートルの地点まで砂利道を走破しなくてはなりません。ハンガリーのプスタと呼ばれる広大な平原で行われる厳しい 6 日間のツアーでは、人間の手が加えられていない大自然の中、砂地などの悪路を走破します。

BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングが開催するいくつかのトレーニング・プログラムは、高性能と信頼性の高さ、さらに優れたテクノロジーを誇る BMW モーターサイクルにふさわしいものばかりです。ライダーがモーターサイクルを乗りこなすことができるようにするトレーニングと、プロフェッショナル・レベルの安全な技術を身に付けるトレーニングを提供することは、BMW Motorrad のモーターサイクル・メーカーとしての責任を果たそうという姿勢の表れです。全てのインストラクターは、ライダーが常に心に余裕を持ってライディングするために必要なスキルの全てを伝える努力をしています。

BMW Motorrad ライダー・トレーニングで習得した技術で、初心者は日常交通の場面で安全に走行することができるようになります。また経験を積んだライダーなら、さまざまなコースやトレーニングのオプションを愉しむことができ、さらにライディング技術を磨き、より大きな駆けぬける喜びを感じられるようになります。

4. あらゆる要求を満たす 理想のコンディション： BMW ドライバー・トレーニング センター

BMW グループのドライビング&セーフティ・トレーニングのインストラクターは、ミュンヘン空港内に設置された広々としたテストエリアにあるコースと充実した設備を使って講習を行います。このトレーニングに最適な BMW グループ・ドライバー・トレーニング センターは、6 万 3000 平方メートル以上の敷地面積を誇り、さまざまな交通環境を再現できるため、参加者は反射神経を養う訓練や、あらゆる状況下でモーターサイクルを安全に乗りこなす練習をすることができます。このように、BMW ドライバー・トレーニング センターは、集中的で現実的、かつリスクのない実技トレーニングの理想的な会場です。

アスファルト舗装された面積は 5 万平方メートルで、8 つのグループが同時に講習を受けることができます。コースには路面にスプリンクラーで散水できるセクションもありグラベル・ベッド(車両を減速させるために砂または土を敷いた場所)の大きなエスケープ・ゾーンも備えています。またオフロード・コースも設置されており、ここでもさまざまなトレーニングが行えるようになっています。

1997 年にこのドライバー・トレーニング センターを創設したことにより、BMW グループは幅広いユーザーを対象にしたドライバー・トレーニングを提供できるようになりました。そして今日まで、BMW グループはドイツで自社トレーニング センターを設立した初の自動車メーカーとして、その利点を生かしています。さらに BMW グループ・ドライバー・トレーニング センターは創設当時から充実した環境と設備を持ち、最先端テクノロジーを導入することでトレーニング施設の世界基準を確立しています。

114 基のスプリンクラー、100 立方メートルのグラベル・ベッド

ドライバー・トレーニング センターの設備の技術的な側面として、散水設備を挙げることができます。この設備には、水を再利用する仕組みを採用しています。またスプリンクラーにはヒーターが装備されており、年間を通して使用することができます。これにより参加者は、夏季の晴天の日でもハイドロプレーニング(水溜りなどの走行時にタイヤと路面の間に水の層ができる現象)を体験することができます。この設備の配水管は延べ 3,500 メートルにおよび、貯水タンクの容量は 150 立方メートルで、3 基のポンプで送水を制御しています。施設全体の給水管延長は延べ 50 キロメートルに達します。



各グループに分かれた参加者は、次のトレーニング・セッションでのトレーニングを開始する前に、コース脇に設けられた 6 つの集合エリアで必ず停車します。回避運動およびブレーキング走行のトレーニングは摩擦係数が異なるさまざまな路面で行われ、参加者が無理をして危険を冒さないよう念入りに進められます。練習に使われるコースは幅が広く、コースの両脇にはおよそ 100 立方メートルの砂利を使ったグラベル・ベッドが設けられています。

理想的な立地条件を持つミュンヘン空港

ドライバー・トレーニング・センターの設立以前には、BMW グループはミュンヘン近郊のさまざまな場所や施設を利用してトレーニングを開催していました。とりわけドライバー・トレーニング・センター設立以前のミュンヘン空港の敷地や、アウトバーンの空港施設までのセクションなどを利用していました。その後、ミュンヘン近郊のリーム空港やノイビデルク空港に移動して、トレーニングを続けました。しかし、それらの敷地にも展示場などの大型施設の建設が決定し、再びメインとなる会場を探さなければならませんでした。

ミュンヘンの新空港において、第 1 格納庫と第 3 格納庫の間にドライバー・トレーニング・センターを構えることができ、この問題は解決しました。ここでは新たに開発された「静かな」エリアでトレーニングを行えるようになりました。トレーニングは、空港の営業時間に行われ、アウトバーンの空港線を通じて直接アクセスすることが可能だけでなく、飛行機で訪れる受講者にも便利で、最適な立地条件となっています。また、BMW グループドライバー・トレーニング・センターには、ミュンヘン市街から電車に乗って 30 分で来ることができます。

さらに、BMW はドイツ国内の約 12 カ所でトレーニングを行っており、全ての会場は専用に貸し切られ、コースの脇には十分な退避スペースも確保されているため、参加者は変化に富んだコースで、少しずつ試しながら、リスクを冒すことなく走行力学（物理法則）の限界を探ることができます。

5. 世界中で安全に貢献： 最高レベルのインストラクター

現在、本物のプロ・ドライバーによるトレーニングに対する一般の関心が、ドイツだけでなく世界各地で広がっています。BMW グループは、すでに 1990 年代には BMW ドライバー・トレーニングの世界化に力を注いでいました。今日では、同様に BMW モーターサイクル・ライダー・トレーニングや MINI ドライバー・トレーニングも世界展開を行っています。

世界展開をするにあたり最重要課題としてきたことは、BMW M GmbH が培った最高水準のトレーニングをどの国でも実施し、共通のコースと高い卓越性を提供することです。この課題は BMW グループ・インストラクター・アカデミーの設立を呼び起こし、世界各国から集められたインストラクターが、自国の受講者達に BMW グループが掲げるより高い安全性とより大きな駆けぬける喜びをもたらすため、教えるべき事柄を学んでいます。

世界を駆け巡るというアイデア :BMW グループ・ドライビング・エクスペリエンス

この 30 年間で、BMW ドライバー・トレーニングが提供する冒険は世界中に広がっています。BMW および MINI のクルマ、さらに BMW モーターサイクルが販売されているほぼ全ての市場の顧客は、BMW グループの躍動感にあふれる製品を使ってスキルを向上させる喜びを体験できます。またほとんどの場合、最初の段階でドイツ人インストラクターが必要な知識を伝え、参加者の願いを叶えられるように考慮しています。

また、こうしたドライビング・エクスペリエンスは、世界中の市場で新型モデルを発表する機会を捉え、定期的に行われています。多くの場合、すぐに好意的な反響が得られるため、BMW グループの各国の拠点は素早く行動を起こし、従業員をドイツのインストラクター・アカデミーの研修に参加させ、自らの力でトレーニングを開催するようになります。

インストラクター資格の取得には、高い基準を満たすことが求められます。高度な技術的知識だけでなく、高いレベルの運転技能、そして BMW グループの製品に関する豊かな経験も求められるほか、参加者にふさわしい技術を教えるために必要な適性や人間性も評価されます。したがって、インストラクター・アカデミーでは、ドライビング・トレーニングやセーフティ・トレーニングの基礎となる BMW グループの教育およびトレーニングのコンセプトも学びます。このコースの受講者は、トレーニングに参加する一人ひとりの長所や短所を見極める方法や、参加者を成功に導く方法を学びます。



世界中、どこでも同じ高い基準

BMW ドライバー・トレーニングなどと同様、インストラクター・トレーニングにもいくつかの段階があります。レベル 1 の場合、インストラクター候補者は BMW コンパクト・トレーニングやアドバンスド・トレーニング、また MINI スターター・パッケージに必要なクルマの知識と技術を学びます。このレベルに合格すると、BMW インテンシブ・トレーニングや MINI パワー・パックを教える資格となるレベル 2 へと進みます。そして最高のレベルに合格すると、インストラクターには特別コースやサーキットでの練習会を自分で開催する資格が与えられます。

世界各地でのドライビング・トレーニングやセーフティ・トレーニングの需要拡大に伴い、インストラクター・アカデミーの果たす役割も大きくなっています。このため、毎年数多くのインターナショナル・トレーニング・コースが開催されています。

このトレーニング施設の開設にあたり、BMW M GmbH は世界統一基準を確立しました。世界中から集められたトレーナーに初期トレーニングやさらに上の段階のトレーニングを提供することで、BMW M GmbH は BMW グループ・ドライバー・トレーニングのトレーナーというエキサイティングな職業を世界各地に輸出していると言えます。

6. 自動車製造のスペシャリスト: BMW M GmbH

「M」のロゴは、高性能スポーツ・モデルを製作するユニークなメーカーのシンボルとして世界中で知られています。卓越した性能と独創性を求め、しかもクルマを知り尽くした顧客は、自分の望むクルマを手にするために BMW M GmbH をパートナーとして選びます。

BMW AG の子会社である BMW M GmbH は、高性能マシンの開発・製造を行っています。また M 社は、BMW Individual の名のもとに、ほぼ無限ともいえるほど数多くの装備品を提供しています。さらに BMW M GmbH は、BMW ドライバー・トレーニングの企画・立案、運営も行っています。

BMW M モデル :モータースポーツの血統

BMW M GmbH は、1992 年にミュンヘンで BMW Motorsport GmbH として創設されました。その名が示すとおり、青、紫、赤のエンブレムを身に付けたツーリング・カーは数々のレースで輝かしい実績を挙げ、1970 年代前半から最強のレーシング・カーの名声を欲しいままにしてきました。そして、そのダイナミックなパフォーマンスを一般道でも味わいたいという要望が高まり、この魅力あふれるマシンがサーキットだけの存在ではなくなるのにそれほど時間はかかりませんでした。

M 社は熱心なファンの声に応え、BMW M1、M535i、M5、M635CSi などの躍動感溢れる感動的なクルマを発表し、70 年代後半には「M」のロゴは俊敏で、安全で、エレガントなクルマの代名詞となっていました。

1986 年、すでに傑出したラインナップに BMW Motorsport GmbH の名をさらに高める運命を背負った 4 気筒モデルが加わりました。それが BMW M3 でした。このクルマは未曾有のベストセラーとなっただけでなく、自動車市場に全く新たなセグメントを作り出しました。その第 4 世代となるニューBMW M3 が間もなく発売されようとしています。

現在、BMW M GmbH はこれまでで最も多くのモデルを販売しています。中でも BMW M5 とM5 ツーリングは、性能と実用性を両立させているという点で卓越しています。一方、BMW M6 および M6 カブリオレの走りは、「秀逸」という言葉の意味を書き換えてしまうほどの印象をもたらします。さらに BMW Z4 M ロードスターおよび Z4 M クーペは、妥協なきスポーツ性能を発揮します。



BMW M GmbH は、サスペンション・システム、ステアリング・ホイール、スポーツ・シート、エアロダイナミック・パッケージなど、個々の部品も提供し、その独自の設計により、BMW の各モデルに、さらに高められた運動性能による醍醐味をもたらしています。

BMW M GmbH : 「M」は新たな基準を打ち立てる頭文字

年を追って伸びる販売と拡大の一途をたどる活動のため、BMW のこの特別な子会社の従業員数も増加してきました。事業規模の拡大により「Motorsport GmbH」という名前では全てのサービスをカバーすることができなくなったため、新たな社名が必要となりました。

しかし、新しい名前を決めるのはそれほど難しいことではありませんでした。自社の公式ブランドにある「M」という伝説的な文字を社名に昇格させるのが、最もふさわしいと考えられたからです。こうして 1993 年 8 月 1 日、このモータースポーツ専門の子会社は、BMW M GmbH という社名を得たのです。

現在、BMW M GmbH には 450 名の従業員が働いており、その約半分が M モデルの開発に携わっています。技術面の開発以外に、専門家による車両のテストも行われています。BMW M モデルの製造は BMW の工場で行われています。例えば、BMW M5 は、BMW 5 シリーズの各モデルと並行してディンゴルフィン工場で製造されています。

しかし、数多くの部品の製造には専用の特別な設備が必要となります。例えば、最高出力 507ps の V10 エンジンは、ミュンヘン製造工場の特別なエンジン製造工程で、多くの手作業と高い品質保証によって製造されています。このようなことから BMW M GmbH は自他共に認める、完全に独立した自動車メーカーとして考えられています。